

## 野の花

花よ 野の花よ

こんな山奥の こんな淋しいところに  
たった一人で咲いている野の花よ

お前を誰が見るだろうか

お前を誰が愛でるだろうか

それでもお前は 美しく咲いている

春の光のなかで 全く咲き匂っている

さびしくはないか 花よ

こわくはないか 花よ

つまらなくはないか 花よ

花よ 野の花よ

お前は美しい

お前は謙虚だ

お前はまじめだ

僕は好きだ お前が大好きだ

花よ 野の花よ

僕はいまお前を見つめている

しかし二度とお前を見ぬだろう

僕はまもなくここを去る

お前もやがて咲き終るだろう

花よ 野の花よ

かわいい花よ かぐわしい花よ

やさしい花よ さびしい花よ

気高い花よ

精一杯咲いている けなげな花よ

もうそろそろ時間だ

僕は東京に帰らねばならぬ

行くぞ 花よ

いいな 花よ

(一九五六・五 信州にて)